

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	食品開発科学科		
科目名称 [英語名称]	地域特産ブランド開発論 [Regional specialty brand development theory]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	310007	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	矢野原 泰士 他			学位授与の方針 との関連			
授業概要	本授業は、食品の素材の栽培方法を学ぶとともに、食品ロス削減の意識づけを行うことを目的とします。また、本授業を通して都城キャンパスの環境園芸学科の学生とも交流を深めながら、宮崎キャンパス内にハーブ・野菜ガーデンを整備します。なお、本授業の一部は、試験研究機関および生産普及現場での実務者経験を活かした教員が教授します。						
関連する科目	2年次後期から始まる必修科目「食品開発実習Ⅰ～Ⅲ」につながります。						
授業の進め方と方法	本授業は、食品開発科学科と環境園芸学科の教員によるオムニバス形式で行います。座学を中心としながら、一部実習も取り入れます。座学は、板書とパワーポイントを用いて行い、随時、プリントなども配布します。実習はグループワークや体験学習等を取り入れたアクティブラーニング形式で実施します。授業日は週間授業ではなく、前期の平日および土曜日・日曜日に実施します。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンスおよびハーブとガーデンについて一事例から学ぶ(環境園芸学科教員) 2. ガーデンの設計ワークショップ形式/アクティブラーニング(環境園芸学科教員) 3. ガーデンの設計ワークショップ形式/アクティブラーニング(環境園芸学科教員) 4. ハーブガーデン基礎工事(実習)・播種・苗の定植(実習)・管理方法について(環境園芸学科教員) 5. ハーブガーデン基礎工事(実習)・播種・苗の定植(実習)・管理方法について(環境園芸学科教員) 6. ハーブガーデン基礎工事(実習)・播種・苗の定植(実習)・管理方法について(環境園芸学科教員) 7. ハーブガーデン基礎工事(実習)・播種・苗の定植(実習)・管理方法について(環境園芸学科教員) 8. ハーブガーデン基礎工事(実習)・播種・苗の定植(実習)・管理方法について(環境園芸学科教員) 9. Capsicum属の育種について(環境園芸学科教員) 10. Capsicum属の育種、食品としての特性について(環境園芸学科教員、食品開発科学科教員) 11. ハーブ、Capsicum属、サンショウの栄養成分・機能性成分と利用(1)(食品開発科学科教員) 12. ハーブ、Capsicum属、サンショウの栄養成分・機能性成分と利用(2)(食品開発科学科教員) 13. サンショウの生態や系統について(環境園芸学科教員) 14. ハーブ、Capsicum属、サンショウの栄養成分・機能性成分と利用(3)(食品開発科学科教員) 15. ハーブ、Capsicum属、サンショウの栄養成分・機能性成分と利用(4)(食品開発科学科教員) <p>順番および内容は変更することがあります。</p>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後受講する食品開発実習Ⅰ～Ⅲで使用する素材の栽培方法を習得する【専門分野のスキル】【実践力】 2. 集団での作業を通じて意思疎通、協調性、自己表現能力を身につける【コミュニケーション力】 						
授業時間外の学修	毎回授業で学習した内容に関しては、次回までに復習(学習に係る標準時間は約1時間)しておくこと。						
課題に対するフィードバック	小テスト、レポート等は評価後、返却します。	評価方法	レポート点と講義途中の小テストなどで総合的に評価する。オムニバス形式なので、1コマ7点満点で評価する。				
テキスト	担当教員によりプリント等の配布あり						
参考書	担当教員により、別途紹介する。						
備考							